

CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

| 1-1 建物概要 | | 1-2 外観 | |
|----------|----------------------|--------|------------|
| 建物名称 | (仮称)五条烏丸ホテル計画 | 階数 | 地上10階 |
| 建設地 | 京都市下京区五条烏丸町 | 構造 | S造 |
| 用途地域 | 商業地域, 防火地域 | 平均居住人員 | 762 人 |
| 気候区分 | 6地域 | 年間使用時間 | 8,760 時間/年 |
| 建物用途 | ホテル, | 評価の段階 | 実施設計段階評価 |
| 竣工年 | 2018年8月 予定 | 評価の実施日 | 2018年2月15日 |
| 敷地面積 | 1,323 m ² | 作成者 | 吉井美香 |
| 建築面積 | 1,062 m ² | 確認日 | 2018年2月15日 |
| 延床面積 | 9,480 m ² | 確認者 | |



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.1 ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.9

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.6

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.6

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.3

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 2.7

| 3 設計上の配慮事項 | | その他 |
|--|--|--|
| 総合 京都市の中心部の烏丸通りに位置しており、通りの周辺環境との調和を図るため外観を考慮した。烏丸通り側の1階に庇を設け、人々が快適に行き交うことのできる場とにぎわいの創出を図る。 | | |
| Q1 室内環境 JIS・JAS企画のF☆☆☆☆の材料を全面的に採用するなど室内環境の向上を図る。ホルムアルデヒド以外のVOCについても放散量の少ない建材を全面的に採用する。 | Q2 サービス性能 共用部分・専有部分共にインテリアを意識して間接照明やタイル・石を利用して空間を演出する。 | Q3 室外環境 (敷地内) 沿道型美観地区、旧市街地型美観地区内に位置しており、景観条例の規定における認定を受けている。 |
| LR1 エネルギー 屋上には太陽光発電を設置し再生可能エネルギー活用し、自然エネルギーの利用に努める。 | LR2 資源・マテリアル 外壁・内壁共乾式のため、解体の際容易に分別可能であり、またノンフロン断熱材を使用するなど、環境に配慮している。 | LR3 敷地外環境 騒音・振動・悪臭・待機汚染の防止に努め、地域環境への配慮を行っている。 |

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される